

	教科等・取組の名称	取り組みの主な内容	主な対象者	実施月・連携
1	音楽「保育音楽」 歌の力で食育を考えよう	「たべもの」「ご飯のときのおやくそく」「栄養」をテーマに七五調の詞を書かせる。できあがった詞に、学習してきた音楽理論を基にメロディと伴奏の楽譜を創作し、将来、保育の現場で使用できる教材として冊子にして保存する。	3年次 保育音楽選択	11月
2	外国語 異文化理解	各国の食事について power point でプレゼンテーションを作成し、発表する。	2, 3年次 選択	6月
3	家庭科 子どもの発達と保育	子どもの発達に適した食事について考えさせ、実際に調理してみる。 調理実習：離乳食、幼児食 子どもの安心安全な食事について知る	2年次 選択者	11月
4	選択科目「食文化」 日本各地の食を楽しむ 「日本の食文化研究レポート」	日本列島の食の魅力に着眼。受け継いできた味や文化、歴史的な背景もある。地元の味を知ることや他の地域の味を知ることによって食の視点を広げ、食の楽しみ方の幅を広げる。3種類を調べて背景を知り、食べて味をレポートする課題。その1「各地の郷土料理研究」その2「各地の名物菓子研究」その3「駅弁・空弁・速弁研究」	3年次 選択科目	11月
5	選択科目「食文化」 和食の理解と受け継ぐ力	日本の食文化の歴史を学ぶ。四季折々の行事食から「一汁三菜」の食事スタイルにわたるまで、健康的なバランスや自然を尊ぶ意識が受け継がれていることを知る。理解を深めたいうで、自らが大切に受け継ぐことができるよう実践につなげる。	3年次 選択科目	5,6月
6	選択科目「栄養」 オリジナルサンドイッチを考えよう 「サンドイッチリスト」	地元のパン屋さんに協力していただき、地域の食の支える役割や商品へのこだわりを直接教わる。各自コンセプトを立て、消費者を想像しながら「オリジナルサンドイッチ」を考案し、試作する。写真撮影、商品説明、作り手の思いを用紙にまとめ、コンテストを実施する。商品開発につなげる。	3年次 選択科目	9,10月 地元パン店
7	家庭基礎 家族のために食事を作ろう	栄養や食事の基本を学ぶ。普段、食べる側であることが多い生徒たちが、作り手になる体験をする。家族の誰かを対象に献立作成し、1日分の食事を調理する。食べてもらう経験から、多面的な視点を身につけ、主体的に食生活にかかわる力をつける。	1年次 全員	10月
8	課題研究「クワカリキュラム」 家庭・地歴 野菜の廃棄をなくし隊 ー食品ロス削減へのはじめの一步ー	社会的な問題として注目されている食品ロス（フードロス）削減のために、実際にアクションを起こすことで、社会に関わります。 問題の現状を知って自分たちに何ができるのかを考え、また活動を発信することにより、持続可能な社会づくりに貢献します。SDGsのゴール12「つくる責任 つかう責任」についての取り組みです。	3年次 選択者	2学期
9	課題研究「クワカリキュラム」 家庭・地歴 平安時代の暮らしを再現してみよう ～日本の文化・風習を伝えられる人に～	普段の授業では触れることが少ない平安時代の宮中の「衣」・「食」及び文化・風習について学習する。現代と約1000年前の平安時代では何が違うのか。また年中行事の「ひな祭り」の由来などを知り日本の文化・風習を楽しく伝えたい。	3年 選択者	2学期
10	保健体育1年 食事と健康（大修館）	日常の食事に目を向けさせる。食塩の取りすぎや、カルシウムの不足、ダイエットによる栄養不足、過剰摂取による肥満や生活習慣病、朝食の欠食などの問題を認識させ、食事バランスガイドを用いて、自らの食生活を健康的に正しく作り上げていけるよう指導する。	1年次 全員	10～ 12月
11	保健体育2年 食品衛生	遺伝子組み換え食品や HACCP など食品の生産過程や、食中毒、賞味期限消費期限など流通や消費の過程での安全性について学ぶ。正しい知識を持つことで、食の安全性を自ら保てるように指導する。	2年次 全員	1月
12	ファッション造形基礎 役目を終えた麻袋に新たな活用を ～輸入食材の課題を学ぶ～	資源の再利用として、コーヒー豆の流通に使用された麻袋を活用した作品制作を行う。その際、オーガニックコーヒーやフェアトレードや環境問題気候変動などを関連付けて学ぶ。	2年次 選択者	1月

13	看護とケア（学校設定） 高齢者の心身の理解 生活支援と食事の介助	疾病や加齢による心身の変化を知り、必要な栄養や食事の内容および、携帯について理解を深める。また、さまざまな自助具や食事の介助方法についても体験的に学ぶ。ユニバーサルデザインフードの調理試食も行う。	2, 3年 選択者	10月
14	「フードデザイン」 栄養素の働きと食事計画	五大栄養素の理解と献立作成	2, 3年 選択者	4~6月
15	「フードデザイン」 地産地消でお弁当作り	兵庫県の地形的特徴や気候風土を復習し、兵庫県産の農林水産物や各地の特産品を知る。また、地産地消を活かしたオリジナルのお弁当を考案し、作る。	2, 3年 選択者	6~8月 お弁当] Yfjt
16	コミュニケーション英語 I	動物に感情や死を悼む気持ちはあるのかというテーマのレッスンで、「死んだものに敬意を払う」という表現が使われており、練習問題の中で「そのような知的な動物には敬意を払うべきだ」という文があった。そこから、日本にはクジラ・イルカを食べる文化があることに触れ、生徒がどのくらいそのような食文化について知っているか英語でディスカッションをする。	1年	6月
17	実用英語 実践英語	「TV dinner（スーパーなどで買える出来合いの食事）を昼食として学校に持ってきてレンジを借りられますか」と先生に問う生徒の話を扱い、TV dinnerについて考える。	2年選 択者 3年選 択者	4月
18	実用英語 実践英語	17年ぶりのセミの発生がアメリカでひっきりなしに話題になったが、「ポップコーンシュリンプが好きならこのようなセミ料理を楽しんでみては」という記事を読み、今話題の昆虫食について理解を深める。	2年選 択者 3年選 択者	9月
19	外国語 英語 Three Daily Meals 1日3食	英文を読むことを通して、朝食、昼食、夕食の基本パターンが確立するまでの歴史を読み、労働時間の短縮、家事手伝いの不足、ダイエットへの関心、調理済みの食品の人気などにより食事時間のパターンやリズムはさまざまな場所により変わる可能性があることを学んだ。	2年選 択者	5月
20	外国語 英語 Bread パン	パンが太古の時代から重要な食品の一種であり、パンに関する英語の表現を表現を知る。	2年選 択者	6月
21	英語 長文読解 脂肪と糖の代謝の違い について	脂肪と糖の燃え方の違いを英文を読むことで知る	3年選 択者	6月
22	美術 I 食品サンプルをつくろ う	自ら興味のある料理作り（食材ではなく）。食に対する嗜好を知り、食の好みや年齢ごとの変化や時代背景に伴う変容を考察し、実感する。	1年選 択者 30 名	1,2月

調査最初に提出されたもの。理科、地歴などは後に提出あり。

